



東北大学



平成 24 年 9 月 4 日
東北大学大学院医学系研究科

新しい抗 HIV 薬の承認

東北大学病院内科・総合感染症科 児玉栄一助教が京都大学に在籍中に日本たばこ産業株式会社 (JT) と共同研究した抗エイズ薬 (エルビテグラビル: HIV インテグラーゼ阻害剤) を含む配合錠 Stribild がアメリカ食品医薬品局の承認を得ました (Gilead Sciences 社が新薬承認申請)。

【研究内容】

エイズは、後天性免疫不全ウイルス (HIV) が免疫に重要なリンパ球 (CD4 陽性 T 細胞) に感染、破壊するために、病気と闘う抵抗力が著しく低下し、本来なら自分の力で抑えることのできる感染症を抑えられなくなる致死性の病気です。世界中で 3400 万人以上の感染者があり、日本でもその感染は 8 年連続で 1000 件を超え、累計で 2 万人を超えました。

近年、複数の抗 HIV 薬を用いることによって、免疫力が回復し、今や感染者の寿命は非感染者の寿命に近くなりました。さらにこの治療によって HIV 感染者からの感染拡大も阻止できることが明らかになって参りました。しかし長期間にわたる治療中に感染者のなかには抗 HIV 剤に対して耐性を獲得した薬剤耐性 HIV と呼ばれる変異株が出現して治療効果が得られなくなることや服薬しなければならない錠数の増加が問題でした。

児玉助教と JT が共同研究したエルビテグラビルは他のクラスの抗 HIV 薬に対して高い耐性を獲得した HIV 変異株であっても極めて強力な抗 HIV 活性を示します。Gilead 社は、エルビテグラビルと同社が開発したエルビテグラビルの血中濃度を上昇させる働きを持つコビスタット及びこれまで同社が販売してきた核酸系逆転写酵素阻害剤 2 剤 (エムトリシタビン/テノホビル ジソプロキシマル酸塩) の 4 剤を配合錠とし、1 日 1 回 1 錠の服用でこれまでの抗レトロウイルス療法と同等以上の効果を示す薬剤にしました。

日本国内は JT が本剤の 2012 年度内の製造販売承認申請を目指しています。

(お問い合わせ先)

東北大学病院内科・総合感染症科

助教 児玉 栄一 (こだま えいいち)

電話番号 : 022-717-7199

Eメール : kodama515@med.tohoku.ac.jp

(報道担当)

東北大学大学院医学系研究科・医学部広報室

長神 風二 (ながみ ふうじ)

電話番号 : 022-717-7908

ファックス : 022-717-8187

Eメール : f-nagami@med.tohoku.ac.jp